

バット溶接機 100/110V

品番 046270



## 取扱説明書

(MADE IN ITALY)

機器の完全性と寿命を維持するため、本紙を必ず読んでください。

(輸入販売元)

株式会社トーキン

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町 1509 番地

TEL: [053-485-5555](tel:053-485-5555) FAX: [053-485-5505](tel:053-485-5505)

E-mail [eigyoutokinarc.co.jp](mailto:eigyoutokinarc.co.jp) URL <https://www.tokinarc.co.jp>

Manual code : 150922

## 目次

1	安全について.....	3
1.1	安全上のご注意 .....	3
1.2	表示項目 .....	4
2	規格.....	5
2.1	基本情報.....	5
3	各部説明、操作手順.....	6-12
4	安全及びメンテナンス .....	13
4.1	メンテナンス.....	14
4.2	故障が疑われる場合 .....	15
5	廃棄方法.....	15
6	部品表 .....	16

## 1. 安全について

本製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用にあたっては本紙をよく読んでください。また、製品の機能を長期間に渡って維持するためにも適切に使用してください。

本紙はいつでも見られる場所に大切に保管していただき、必要に応じて再度お読みください。

本製品を再販売する際には、必ず本紙を同封してください。

許可なしに、本紙を複製することは禁じられています。

### 1.1 安全上のご注意

本紙では、以下の記号を表示しています。



#### 情報

機器を最大限に活用するために特に注意して読む必要のある重要な情報。



#### 危険

取り扱いを誤った場合、死亡または重症を受ける危険が切迫して生じることが想定される場合。



#### 注意

取り扱いを誤った場合、傷害を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。



#### 警告

取り扱いを誤った場合、誤作動による危険または損害を受ける可能性が想定される場合。

## 1.2 表示項目

以下のイラストは製品ラベルの例です。

図 1.2.1 のラベルが製品の背面に貼付されています。

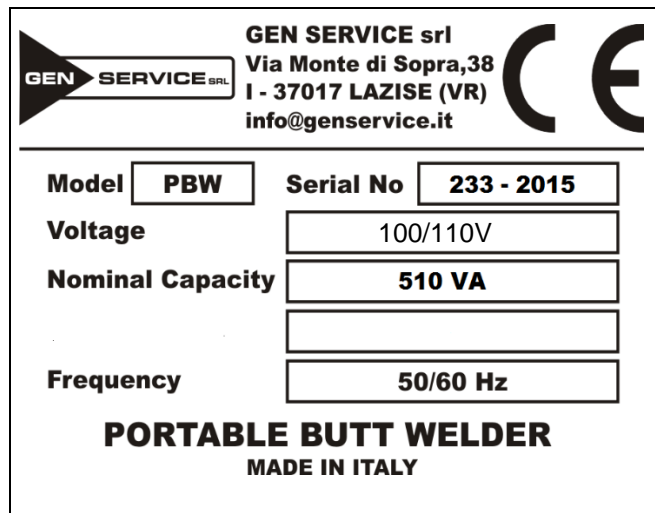


図 1.2.1



製品に貼付されているラベルを剥がすことは禁じられています。

**2. 規格**

周波数:	<b>50/60 Hz</b>
入力電圧:	<b>1 φ AC100/110V</b>
電気容量:	<b>0.6 KVA</b>
出力電圧 <sup>1</sup> :	<b>AC 2.6 V</b>
過負荷保護:	<b>単極サーマルスイッチ</b>
動作環境:	
<input type="checkbox"/> 気温:	<b>10 °C – 50 °C</b>
<input type="checkbox"/> 相対湿度:	<b>10 - 85% non condensing</b>
<input type="checkbox"/> 気圧 (MPa):	<b>0,7-1,04</b>
保管条件:	
<input type="checkbox"/> 気温:	<b>-20 ÷ 50 °C</b>
<input type="checkbox"/> 相対湿度:	<b>≤95% non condensing.</b>
電子機器分類	<b>クラス I</b>
Casing protection degree:	<b>IP40<sup>2</sup></b>
溶接可能な材質:	<b>鋼線</b>
	<b>Φ 0,8 ÷ 2 mm</b>
重量:	<b>13 Kg</b>
:	

**2.1 基本情報**

法律上の表示:

- 2006/95/EC LVD directive (低電圧指令)**
- 2011/65/CE RoHS2 directive (RoHS2 指令)**

イタリア国内法および HST (harmonized technical standards) 上の表示

- EN 62135-1 (2008-11)**
- 50581 (2012-09)**

<sup>1</sup> 電圧は 2 次回路が開いておりかつ溶接が公称電圧によってされる場合に測定されます。2 次電圧は安全な絶縁変圧器(EN 61558-2-6)を使用した際に供給されます。

<sup>2</sup> 本製品は室内で使用してください。

3. 各部説明、操作手順

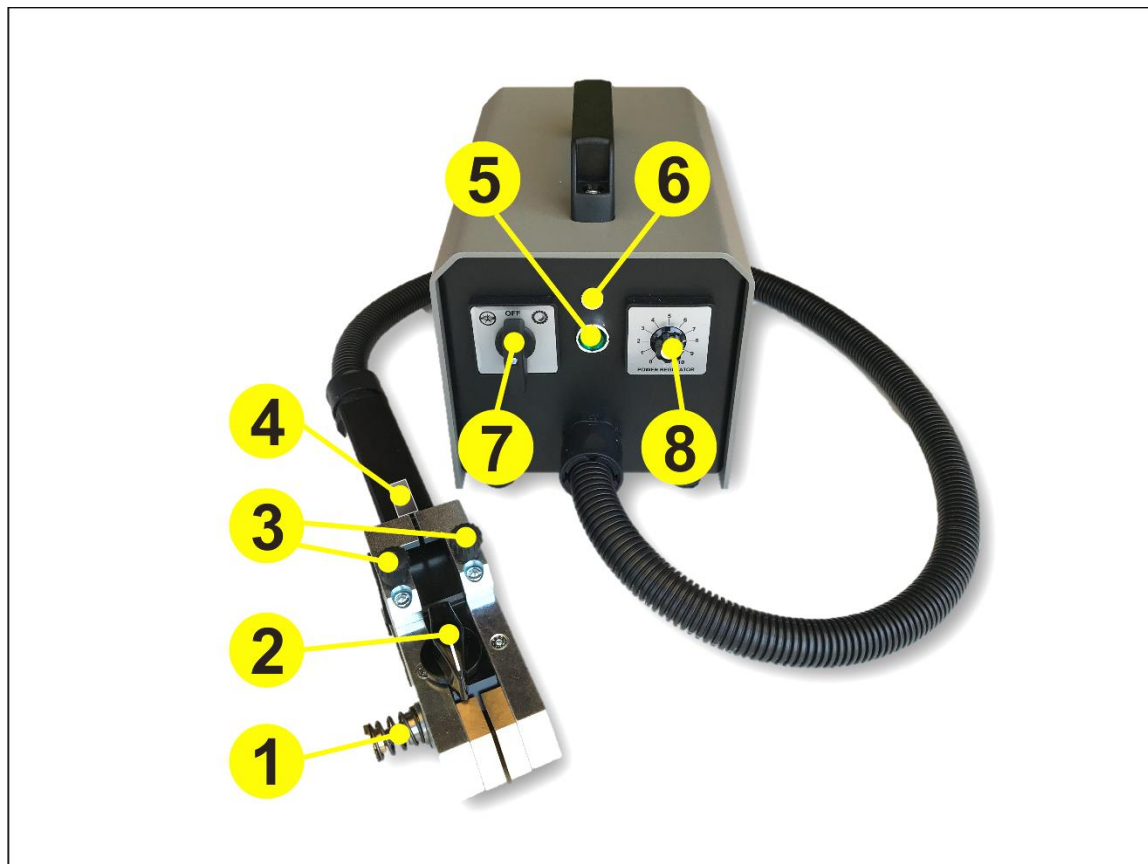


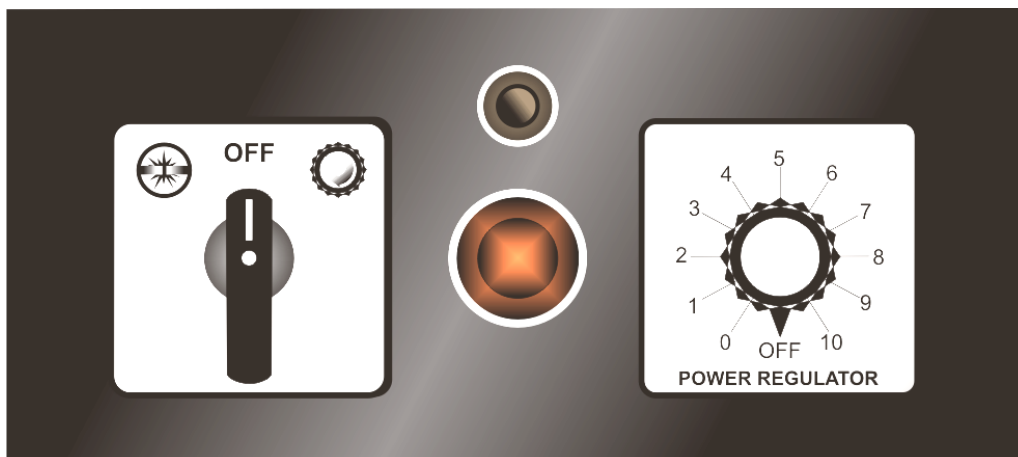
図 3.1.1

図 3.1.1 各部説明

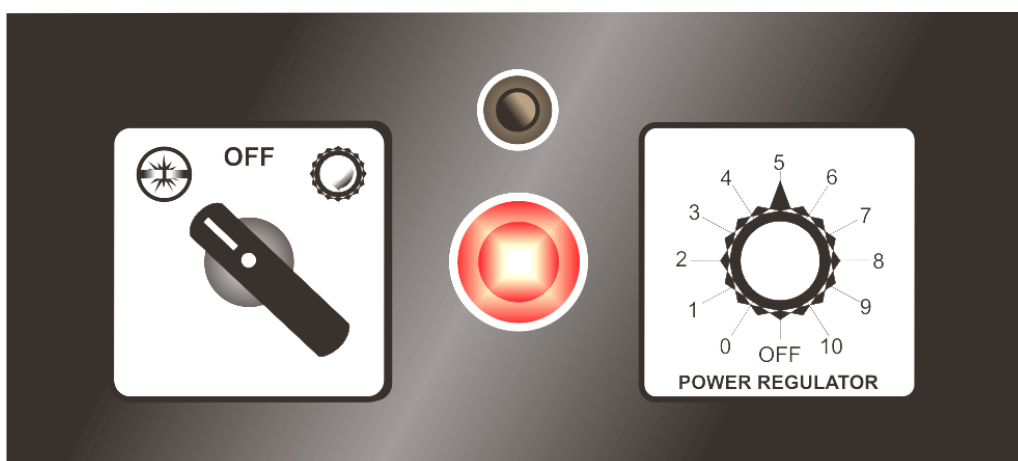
1. クランプ力調整部
2. クランプを開くためのレバー
3. ロックつまみ
4. スタートボタン
5. Function ライト (後述)
6. 回路遮断ボタン
7. 機能選択つまみ (後述)
8. 出力調整つまみ (後述) (7 のつまみが右側にある場合にだけ作動)

## 各ボタンの詳細

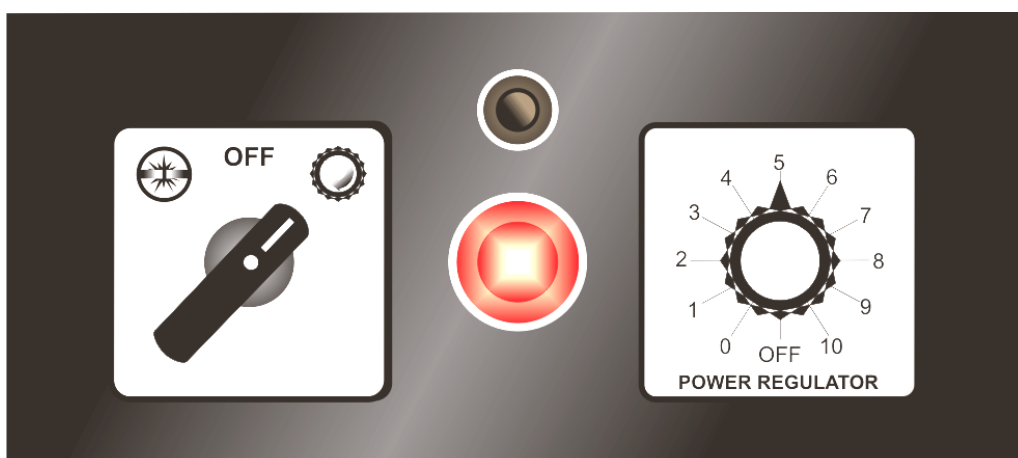
1. 左の機能選択つまみを OFF の位置に合わせる : Function ライトが消える→オフになる



2. 左の機能選択つまみを左側に回す : Function ライトがオンになる→最大出力となる



3. 左の機能選択つまみを右側に回す : Function ライトがオンになる→出力調整が可能  
右の出力調整つまみ (POWER REGULATOR) で調整する。特に、細かな調整が必要になるフラックスコアワイヤーや柔らかいワイヤーの場合に推奨。

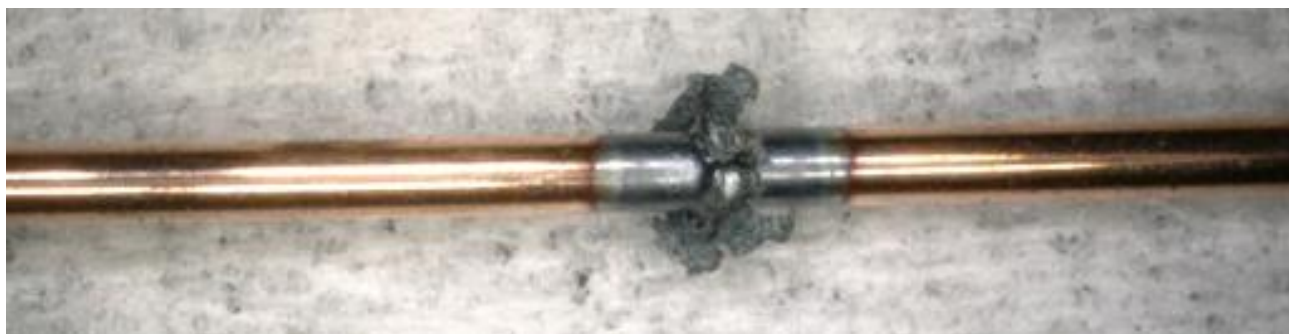


出力調整機能について補足

- (1) 右の出力調整つまみは、目盛10～6を使用します。  
数字が小さくなるにつれて出力が下がります。



- (2) 細径ワイヤー0.9mmの溶接例  
左側つまみ右 出力調整目盛9 程度を推奨します。

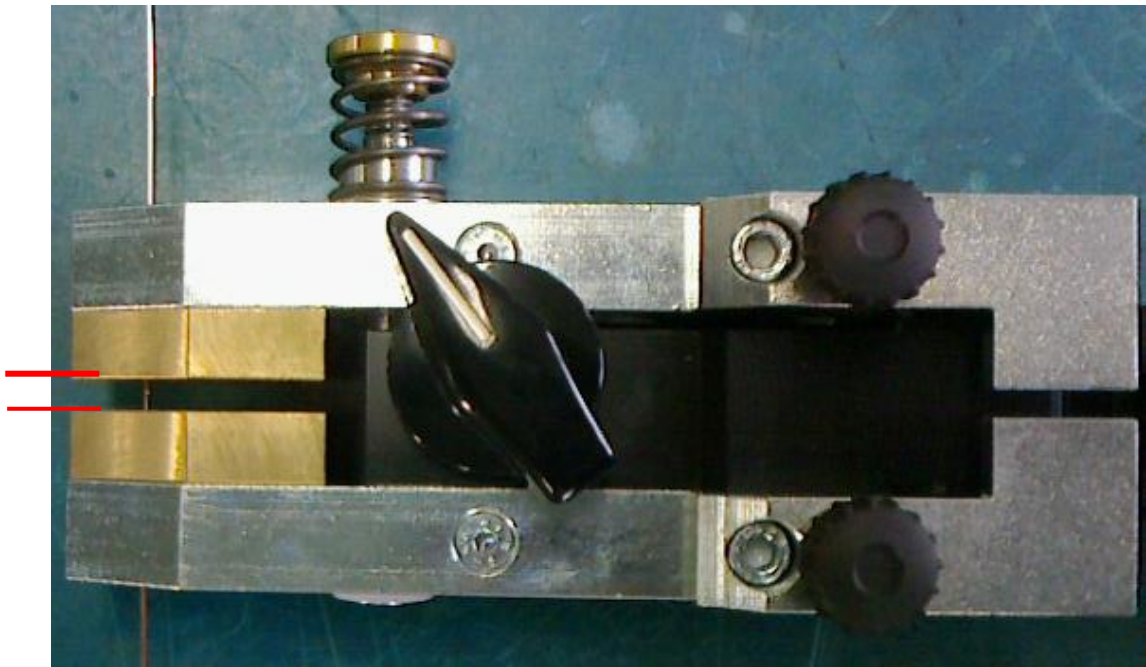




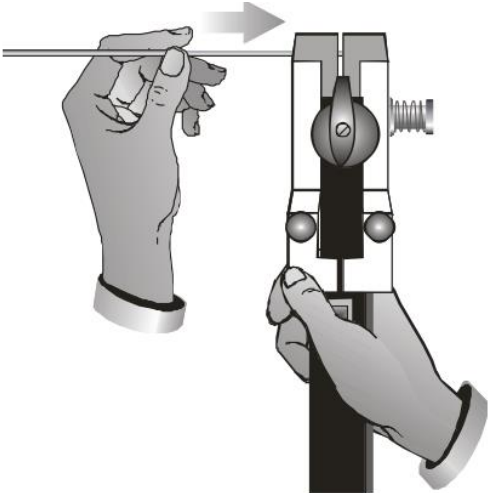
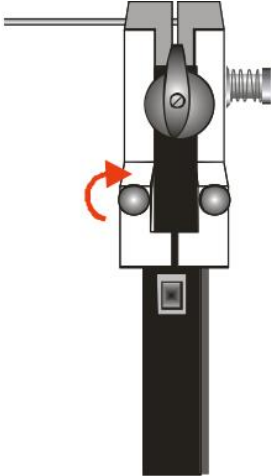
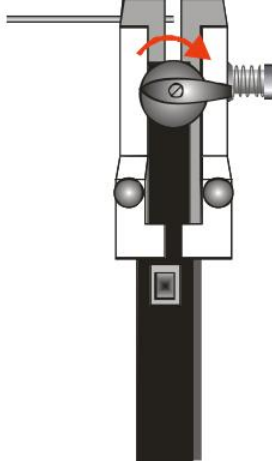
(3) 細径ワイヤー溶接で、以下の写真のような結果になった場合は、ワイヤセット時の2. クランプを開くためのレバーを全開ではなく 2/3程度にすると改善できます。

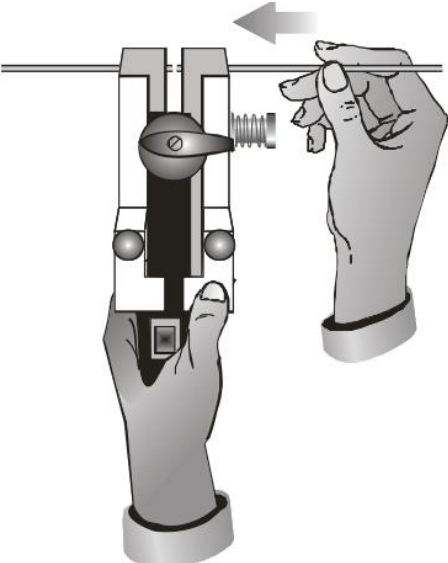
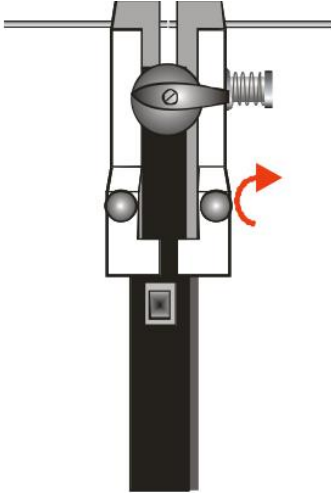
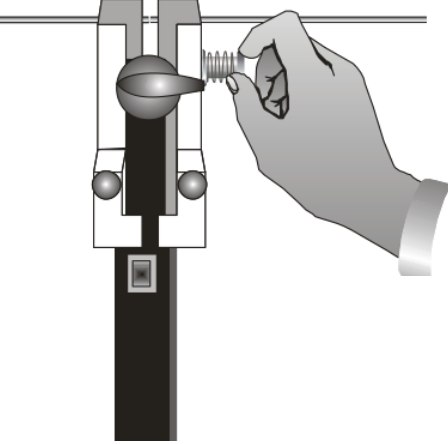


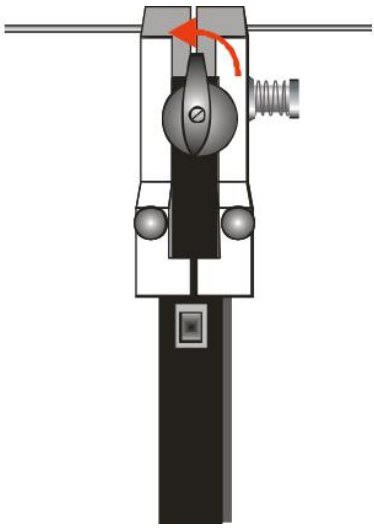
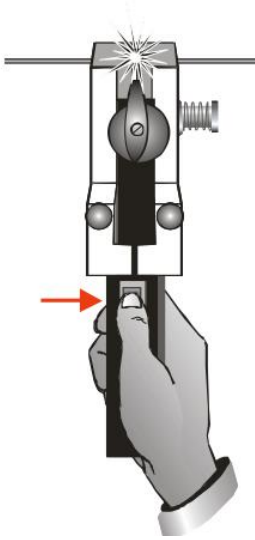
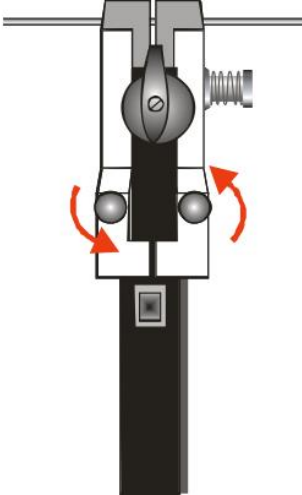
開き巾を狭くする。



## 操作手順

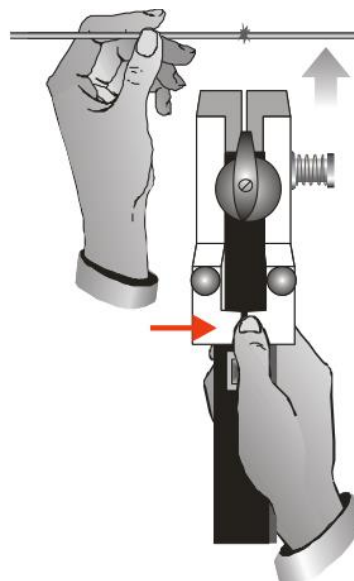
<p><b>1</b></p>	<p>まずワイヤーを左側よりセットします。</p> <p>左側のクランプクリップを押しながら、ワイヤーの先端を左側のクランプの溝にスライドさせます。</p> <p>ワイヤーの先端が右側のクランプに接触するまで押し込みます。</p>	
<p><b>2</b></p>	<p>左側の小さなロックノブを時計回りに手で締めて、ワイヤーを固定します。</p> <p>これにより、溝からワイヤーが滑り落ちるのを防ぎます。</p>	
<p><b>3</b></p>	<p>中央ノブを時計回りに回して、右側のクランプを開きます。</p>	

<p>次にワイヤーを右側にセットします。</p> <p>右側のクランプグリップを押しながら、ワイヤーの先端を右側のクランプの溝にスライドさせます。</p> <p><b>4</b> 2つのワイヤーの端がクランプ間にあり、かつ、先端同士が接するように押し込みます。</p> <p>2本のワイヤーが完全に整列していることを確認してください。重要：ワイヤーの両端がきちんと切断され、先端の表面積が最大になるように常に確認してください。必要に応じて、ニッパーで切ってください。</p>	
<p>下記を再度確認します：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2本のワイヤーが完全に整列している</li> <li>2. 2本のワイヤーの先端が接触している</li> </ol> <p><b>5</b> 手順2と同様に、右側の小さいロックノブを時計回りに手で締め、ワイヤーを固定します。これにより、溝からワイヤーが滑り落ちるのを防ぎます。</p>	
<p>溶接するワイヤー径に応じて右側のクランプ調整部を調整します。</p> <p><input type="checkbox"/> 比較的大きなワイヤー径:強く締めます</p> <p><input type="checkbox"/> 比較的小さなワイヤー径:軽く緩めます</p> <p><b>6</b> 重要： 溶接するワイヤー径に最適な圧力調整を実現するには、複数回ほど試してみることが推奨されます。一度調整すると、ワイヤー径を変更するまでは正常に機能します。</p>	

<p>7</p>	<p>中央のつまみを反時計回りに回して右側のクランプを閉じます。 これで、準備は完了です。</p>	
<p>8</p>	<p>溶接ボタンを4秒ほど押し続けます。 2本のワイヤーが溶接されると、自動的に止まります。</p>	
<p>9</p>	<p>ワイヤーを締め付けている両サイドのロックノブを反時計回りに回して、ワイヤー締め付けを緩めます。</p>	

10

2つのクランプクリップを同時に握り、左右のクランプを開いてワイヤーを外します。



11

溶接後の仕上げ処理として、市販の砥石グラインダーで使用ワイヤー径まで全周を削ります。削りが不十分な場合、チップで止まってしまうことがあります。



#### 4. 安全およびメンテナンス



作業者は必ず保護メガネを装着し溶接作業を行ってください。



作業中に、ハンドル部（作業中につかむ箇所）に磁力が発生する可能性があります。

磁力の強さは、1999/519/EC の規定範囲内ですが、事前に以下のことに注意してください；

- ・ ケーブルを本体から離れたところに置く
- ・ 磁器に弱い物を身に着けない
- ・ ペースメーカー使用者は作業しない

#### 4.1 メンテナンス

メンテナンス作業は電源を抜いた状態で行ってください。



定期的に以下のことを確認してください。

- ・ 中性の刺激性のない洗剤で湿らせた柔らかい布で本体外部を拭き、乾いた布でふき取ってください。
- ・ ケーブル（電源装置～ハンドル部）が破損していないか確認してください。万が一、破損が見つかった場合にはただちに使用を中止し販売元へお問い合わせください。

## 4.2 故障が疑われる場合

問題	考えられる原因	対処方法
問題：準備は済んでいるが作動しない。電源ライトがついていない。	サーマルスイッチまたは別のスイッチが入っていない。	サーマルスイッチをリセットするか別のスイッチを再度入れ直す。



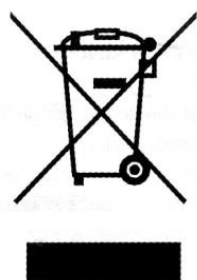
上記の対応をしても作動しない場合、販売元に問い合わせてください。



内部を開けたり、分解したりしないでください。万が一そのようなことが疑われる場合には補償の対象外となります。

## 5. 廃棄方法

廃棄される際はお住まいの地域の規定に沿った方法で処理してください。



「電気および電子機器における有害物質の使用の削減および廃棄物処理に関する指令 2002/95 / CE、2002/96 / CE および 2003/108 / CE の実施」（2005年7月25日施行、151 法令第 13 項）に準拠してください。左記の記号は使用済の製品を他の廃棄物とは別に収集する必要がありますを示しています。

適切な廃棄物収集業者に連絡するか、新規購入と同時に販売元に返却する等の方法をとってください。

地球環境と健康への悪影響を避け、リサイクルを促進するのに役立ちます。不適切な廃棄が見つかった場合、法律で罰せられる可能性があります。

6. 部品表

POS	DESCRIPTION
1	Spring Cap
2	Spring
3	Spring Cup
4	Right Spacer
5	lower clamp
6	Upper clamp
7	Lower right jaw
8	Upper right jaw
9	Left Lever
10	Spring
11	Locking Knob
12	Micro switch
13	Cam
14	Handle
15	Pin
16	Link Spacer
17	Right Lever
18	Clench Knob
19	Pin
20	Switch
21	Cable Lock
22	Connector
23	Terminal

